

社会で役立つスキルを学ぶ

那須中学校では、感染症で中止となった2年生のマイチャレンジ（職業体験）の代わりに、社会で活躍している方を講師に講演会を開催しました。

チームワークを学ぶショップ

11月18日には、チームワークを学ぶショップを体験。各種講演・企業研修を行っているサイボウズチームワーク総研のなかむらアサミ氏からチームワークを發揮するには、理想をつくること、役割分担をすること、コミュニケーションすること、情報を共有すること、モチベーションを上げることの重要性を学びました。

1組の郷間塔子さんは「社会に出たら、個人個人の思いはあると思いますが、1つの理想をみんなで作るようにしたい」と話しました。

なかむら氏は、「自分がやりたいことをやるためには、自分の思いを発信し、共感してもらうことが大切。チームワークはこれからいつでも必要になる。悩んだ時には、今日学んだことを生かして頑張ってください」とこれから社会に出る生徒に向けエールを送りました。



チームワークの木。1人ずつ葉っぱに理想（どんなクラスにしたいか）を書き、コメントに理想の実現に向けて自分ができることを書きました

下野新聞塾

11月16日に行われた「下野新聞塾」では、下野新聞社那須塩原支局長の石田聡氏が講師を務め、結論を先に書く新聞の書き方や、縦・横撮りの写真の効果、下調べや質問を整理しておくことなど取材での大切なことを生徒たちに話しました。

2組の大森逸平さんは「紙面の都合で後ろの部分が削除されてしまう記事でも、大事な情報は伝わるような書き方の順番になっていることを知りました。これからは、1面トップの記事だけでも読むようにしたい」と新聞の面白さに興味を持ったようでした。



2人1組になり交代で「昨日の晩ごはんについて」取材。記事を書くことを意識して、何を食べたかだけでなく、時間や場所、味、誰と食べたか等、話を掘り下げて聞く工夫を学びました

いのちのあたたかさを感じる

11月10日、学びの森小学校で「獣医師による出前授業」が行われ、児童たちは、ウサギの目が赤い理由や長い耳の機能、ウサギに与えてはいけない食べ物などウサギの生態を学び、また、抱いたりしてはいけない食べ物などウサギの生態を学び、また、抱いたりしてはいけない食べ物などウサギの生態を学び、また、聴診器を使って心臓の音を聞いたりしながら、いのちの大切さを感じました。

4年の村田流輝さんは、「ふわふわでやわらかくてあったかかった。これからも学校で飼っているウサギと仲良くしていきたい」と笑顔を見せました。講師を務めた獣医師の佐藤かおり氏は、「リモートやデジタルの時代だからこそ生き物の温もりを感じ、命を考えることが大切」と話しました。



町をよくしたい～中学生の思い～

11月20日、那須中学校で2年生によるプレゼン発表会「よりよい那須町にするために」が開催され、教育委員や町職員、地域の方、約30人が参加しました。生徒たちは、ゴミ問題や高齢者問題、温暖化問題等をテーマに、調査し、考えた問題点とその解決方法、自分たちのできることや大人への提案等を1人ずつ発表。参加者は、生徒たちの声に耳を傾け、また、その発表に対し、感想や意見など生徒たちに伝えました。

高原公民館：女性学級「初☆学校へ行こう！」として、参加した地域の方からは、「一人ひとりが問題に向き合い、調べたことなどをタブレットを使ってほかの人に発表した姿に感心しました」「発表がとても分かりやすかった」「子どもたちが町の未来を考えてくれていることが嬉しかった」との声が聞かれました。

